

次号予告

特集＝理学療法最近の進歩

- Biofeedback Treatment による治療..... 慶大リハセンター 溝呂木 忠・他
- Isokinetic Exercise 等速運動療法の実際..... 自治医大リハ部 谷 岡 淳
——その効果について、特に末梢性——
- Isokinetic Exercise 等速運動療法の実際..... 九州リハ大高校 嶋 田 智 明
——その効果について、特に中枢性——
- 褥創の治療と予防..... 都老人研 山 田 道 広
- とびら 統合性との出会い..... 清瀬リハ学院 矢 谷 令 子
- 講座 行動療法 (1)..... 国立特殊教育研 東 正
- 運動学シリーズV：膝の運動学 (1)..... 兵庫リハセンター 山 下 隆 昭

精神科 OT の実際

- 異性問題 松山精神病院 藤 林 禧 史

研究と報告

- 大腿義足歩行の分析 (第1報) 慶大リハセンター 灰田 信英・他

メディカルプログレス

- 血友病の整形外科的管理 帝京大整形外科 岩 倉 博 光
- 神経と筋との機能的連がり 名大内科 真 野 行 生

編集後記

「脳卒中のリハビリテーション」, 「脳性麻痺のリハビリテーション」の特集について, 第3弾の「運動療法」の特集をここにお届けすることができて大変に嬉しく思う。

編集にあたって, 1966年, ノース・ウェスタン大学で開かれた運動療法に関して討議された, NUSTEP 会議の内容を特集した, “American Journal of Physical Medicine” をめざして期するものもあったが, 執筆陣, 紙数の制約から, 運動療法の基礎から応用のすべてに亘ることはできなかった。

しかし, 現在のわが国の水準の最高を示

す内容になったことは確かであるし, 内容的にも充実したものになった。

総説はPTが担当し, 中枢性障害, 末梢性障害のそれぞれの分野を一応, 全部網羅して, Dr., PT, OT がそれぞれ執筆した。

この特集が, わが国の PT, OT, Dr. に対して, 運動療法の啓蒙的な役割と, 現在の運動療法のレベルを知り, 更に今後の運動療法を発展させるうえで, 参考になれば大変に幸せである。

“運動療法の現状と問題点” が座談会で討論されているが, 新旧のセラピストによって語られた内容は興味深いものがある。

最後にこの特集の執筆にあたられた30数名の方々に心から感謝する。

(松村 秩)

<編集顧問>

天 児 民 和
九州労災病院長

五 味 重 春
府中リハビリ学院長

砂 原 茂 一
国立療養所東京病院長

津 山 直 一
東京大学教授・整形外科

水 野 祥太郎
川崎医科大学学長
(五十音順, 以下同じ)

<編集委員>

上 田 敏
東大リハビリ部

荻 島 秀 男
都養育院リハビリ部

佐 藤 馨
神奈川リハセンター

鈴木 明子
府中リハビリ学院

谷 岡 淳
自治医科大学

田 村 美枝子
清瀬リハビリ学院

寺 山 久美子
都心障センター

松 村 秩
都養育院リハビリ部

<編集同人>

明 石 謙
大 井 淑 雄
大 川 嗣 雄
大 橋 博
鎌 倉 矩 子
紀 伊 克 昌
小 林 夏 子
駒 沢 治 夫
佐 藤 剛
田 原 澄 彦
富 岡 詔 子
奈 良 勲
藤 沢 しげ子
藤 本 欽 也
前 田 守
松 本 妙 子
矢 谷 令 子
山 下 隆 昭
横 山 巖
和 才 嘉 昭
(担当 細田・松橋)